

令和 7 年度
中学校教育課程研究協議会
総合的な学習の時間

- 1 指導と評価の一体化を核とした
授業改善・学習改善の在り方①
- 2 グループ別協議①
「学校における総合的な学習の時間の実践について」
- 3 指導と評価の一体化を核とした
授業改善・学習改善の在り方②
- 4 グループ別協議①
「指導と評価の一体化について」



令和 7 年 7 月 2 4 日 (木)

1

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

総合的な学習の時間の特質

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。

- ・ 探究的な見方・考え方を働かせる
- ・ 横断的・総合的な学習を行う

る態度を養つ。

2

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

総合的な学習の時間の特質

- ・ 探究的な見方・考え方を働かせる

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける。

- ・ 横断的・総合的な学習を行う

教科等の枠を超えて探究する価値のある課題について、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に向けて取り組んでいく。



3

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

探究的な学習の指導のポイント

- ・ 学習過程を探究的にすること
- ・ 他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

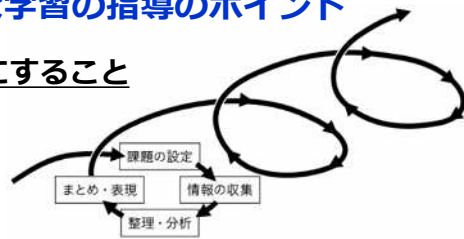


4

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

探究的な学習の指導のポイント

学習過程を探究的にすること



①課題の設定

体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ

②情報の収集

必要な情報を取り出したり収集したりする

③整理・分析

収集した情報を、整理したり分析したりして思考する

④まとめ・表現

気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

5

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

探究的な学習の指導のポイント

他者と協働して主体的に取り組む学習活動にすること

①収集した多様な情報に触れる

情報の多様さと多さは、整理や分析を質的に高める。

②異なる視点から検討ができる

異なる視点や異なる考え方があることの方が、深まる。

③相手意識を生み出したり、仲間意識を生み出したりする

共に学ぶことが個人の学習の質と集団の学習の質を高める。



6

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

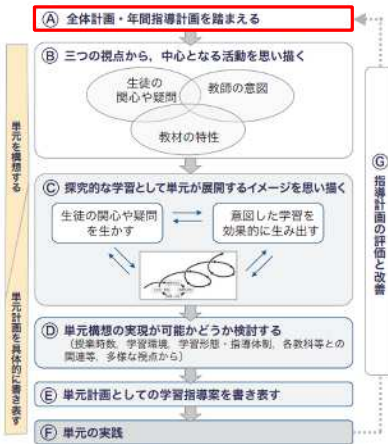


図1 単元計画作成の手順チャート

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (中学校編) p.97

7

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる



今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (中学校編) p.68

8

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

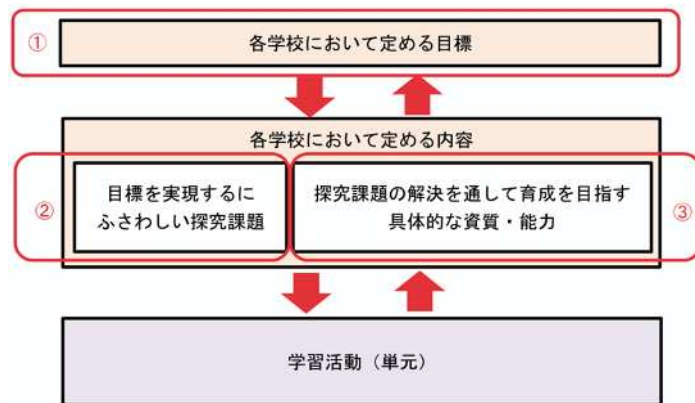


図2 全体計画の三要素と学習活動（単元）の関係

9

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

【学校において定めた総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や課題を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

	(1)	(2)	(3)
目標	地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技術を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって変えられていることを理解する。	地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。	地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。

（中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編 P.67 を参考に例示）

※各学校においては、以下に留意して、各学校における総合的な学習の時間の目標を定める。

- ・「第1の目標」を踏まえる。〔第2の1〕
- ・教育目標を踏まえ、育成を目指す資質・能力を示す。〔第2の3(1)〕
- ・他教科等で育成を目指す資質・能力との関連を重視する。〔第2の3(2)〕
- ・日常生活や社会との関わりを重視する。〔第2の3(3)〕

10

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

各学校において定める内容

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

各学校において定める内容			
目標を実現するにふさわしい探究課題		探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	
現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
例	地域や学校の特色に応じた課題	他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする	探究的な学習の過程において発揮され、未知の状況において活用できるものとして身に付けられるようにする
	生徒の興味・関心に基づく課題		自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる
	職業や自己の将来に関する課題		
何について学ぶか		どのようなことができるようになるか	

中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編 p.18参照

11

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

探究課題の例

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

四つの課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題 (現代的な諸問題)	・地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観（国際理解） ・情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化（情報） ・地域の自然環境とそこに起きている環境問題（環境） ・身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々（福祉） ・毎日の健康な生活とストレスのある社会（健康） ・自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題（資源エネルギー） ・安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々（安全） ・食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者（食） ・科学技術の進歩と社会生活の変化（科学技術） など
地域や学校の特色に応じた課題	・町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織（町づくり） ・地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々（伝統文化） ・商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会（地域経済） ・防災のための安全な町づくりとその取組（防災） など
生徒の興味・関心に基づく課題	・ものづくりの面白さや工夫と生活の発展（ものづくり） ・生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ（生命） など
職業や自己の将来に関する課題	・職業の選択と社会への貢献（職業） ・働くことの意味や働く人の夢や願い（勤労） など

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.74

12

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

単元で扱う探究課題と具体的な資質・能力

探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い	- 働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付く。 - 目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集できる。 - 地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。	- 地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもつことができる。 - 課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積することができる。 - 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理・分類し、考察することができる。 - 地域の職場や専門家の方々と、相手意識や目的意識に応じて、わかりやすく表現することができる。	- 地域の職場や仕事、専門家の方との関わりを通して、自分のよさに気付く、探究活動に進んで取り組む。 - 自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。 - 地域の職場や仕事、専門家の方との関わりの中で、自分にできることを見付けようとする。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.106

13

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

知識及び技能
- 働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付く。 - 目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集できる。 - 地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。

概念的な知識の獲得 ①
自在に活用することが可能な技能の獲得 ②
探究的な学習のよさの理解 ③
 の3つに配慮して設定することが考えられる。

【知識】

- 事実に関する知識を関連付けて構造化し、統合された概念的な知識の獲得。

【技能】

- いつでも、滑らかに、安定して、素早く行われているような技能の獲得。

【探究的な学習のよさの理解】

- 「資質・能力の変容を自覚すること」、「学習対象に対する認識が高まること」、「学習が生活とつながること」などを、探究的に学習してきたことと結び付けて理解。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.75～

14

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

思考力、判断力、表現力等
- 地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもつことができる。 - 課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積することができる。 - 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理・分類し、考察することができる。 - 地域の職場や専門家の方々と、相手意識や目的意識に応じて、わかりやすく表現することができる。

課題の設定 ①
情報の収集 ②
整理・分析 ③
まとめ・表現 ④
 の過程で育成されるものとして設定することが考えられる。

【課題の設定】例

- 複雑な問題状況の中から課題を発見し設定する
- 解決の方法や手順を考え、確かな見通しをもって計画を立てる

【情報の収集】例

- 情報を効率的に収集する手段を選択する
- 必要な情報を多様な方法で収集し、種類に合わせて蓄積する

【整理・分析】例

- 異なる情報の共通点や差異点を見付け、関係や傾向を明らかにする
- 事象を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠をもつ

【まとめ・表現】例

- 相手や目的に応じて効果的な表現をする
- 学習を振り返り、自己の成長を自覚し、学習や生活に生かす

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.78～

15

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

学びに向かう力、人間性等
- 地域の職場や仕事、専門家の方との関わりを通して、自分のよさに気付く、探究活動に進んで取り組む。 - 自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。 - 地域の職場や仕事、専門家の方との関わりの中で、自分にできることを見付けようとする。

「粘り強さ」や「学習の調整」を重視
自他を尊重する「自己理解・他者理解」①
自ら取り組んだり力を合わせたりする「主体性・協働性」②
未来に向かって継続的に社会に関わろうとする「将来展望・社会参画」③
 について育成される資質・能力として作成することが考えられる。

【自己理解・他者理解】例

- 自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする
- 異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする

【主体性・協働性】例

- 自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組む
- 自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に取り組む

【将来展望・社会参画】例

- 自己の生き方を考え、夢や希望をもち続ける
- 実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組む

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.80～

16

各教科等の関連

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

総合的な学習の時間

- 分かりやすいレポートの作成
- 体験活動
- 情報収集
- データの整理
- 地域に生息する生き物の生態系を考える体験活動
- 食や健康、福祉に興味をもつ

国語科

- 文書の書き方
- 案内状やお礼状の作成

社会科

- ## ○資料活用の方法

算数・数学科

- ## ○統計の手法

理科

- ## ○生物と環境の学習

技術・家庭科、保健体育科

- 栄養を考えた食事や快適な住まい
方の学習に前向きに取り組む

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.92～

各教科等を網羅的に示す年間指導計画の例

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

[illegible]

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.93

関連教科等を重点的に記載する年間指導計画の例

A 全体計画と年間指導計画を踏まえる

	総合的な学習の時間	各教科等の単元名と関連が考えられる資質・能力の例
4月	●●町の課題について調べよう。(30時間)	国語科 スピーチで社会に思いを届ける 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。(思考力、判断力、表現力等)
5月		
6月		
7月		
(8月)		社会科 地方自治 地方自治の基本的な考え方について理解すること。 その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解すること。(思考力、判断力、表現力等)
9月		国語科 多角的に分析して書く 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。(思考力、判断力、表現力等)

B 3つの視点から、中心となる活動を思い描く

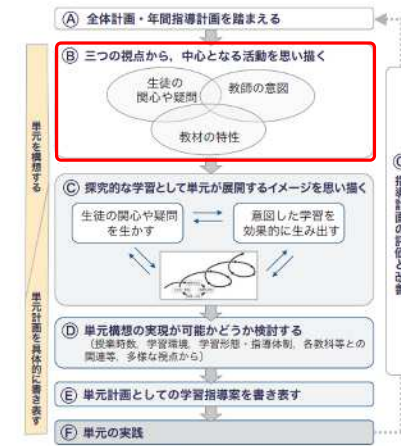


図1 単元計画作成の手順チャート

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.97

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ①

B 3つの視点から、中心となる活動を思い描く

3つの視点から中心となる活動を思い描く

生徒の関心や疑問	教師の願い	教材の特性
生徒のこれまでの学習の進捗状況や関心や疑問の実態を把握する。 前単元までに高まっている生徒の興味・関心を、感想や活動の様子、振り返り等から把握する。	どんな資質・能力を育てたいのか？ 全体計画を踏まえて、探究課題の解決を通して、どのような資質・能力を育てたいのか、具体的に考える。 授業のイメージを学年で共有する 大まかな指導のイメージを学年会等で話し合い、共有しておくことで、協働的な単元計画につなげる。	教材と出会う姿を思い描く 生徒が地域の人々との関わりを深め合う姿を思い描くことで、単元の中心的な活動を明確にする。 ふさわしい単元名を考える 何をさせたいのか、何を学んでほしいのかといった、教師の願いが生徒に伝わるような単元名を考える。 教材がふさわしいかをウェビングで確かめる 中心の材を「地域で働く人々」としたとき、教材としての広がりがあるか、どのような対象や活動が考えられるかを予測する。

25

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

B 3つの視点から、中心となる活動を思い描く

3つの視点から中心となる活動を思い描く

生徒の興味・関心	教師の意図	教材の特性
<単元名> (第2学年 36時間扱い) 「未来の自分に近づこう」 <単元の概要> 3日間の職場体験を終えて、仕事や働くということに興味・関心を高めた生徒たちが、「地域で働く人々」と関わる活動を中心に、地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願いを知り、自己の将来や生き方を考えるよう学習活動を展開した単元である。 <探究課題> 地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い(勤労)		

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (中学校編) p.101~

26

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

B 3つの視点から、中心となる活動を思い描く

3つの視点から中心となる活動を思い描く

生徒の興味・関心	生徒のこれまでの学習の進捗状況や興味・関心の実態を把握する。
「働くって何だろう？」を通して考えたこと、興味を抱いたこと、疑問をもったこと、もっとやってみようことなど、生徒に芽生えた関心や疑問を生かした単元を構想した。	生徒のこれまでの学習の進捗状況や興味・関心の実態を把握する。 前単元までに高まっている生徒の興味・関心を、活動の様子を観察、感想などの振り返りから把握する。

商品の陳列を体験したが、色の並び順とか異色とか、そんなに深い理由があったとは知らなかった！どんな並べ方があるのか調べたい！

接客を体験して、ちょっとだけコミュニケーションが上手になったと思うけど、あいづつとかマナーとか、もっと練習してみたい！

農園で体験して、草刈は見えなかったけれど、いろいろな仕事をしていることが分かった。どんな思いで仕事に取り組んでいるのか知りたい！

生徒たちは、職場体験を通して、いろいろな仕事についての興味・関心を高めているようだ。もっと仕事や働くということについて考えられる単元を考えよう。

自発性 能動性

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (中学校編) p.103

27

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

B 3つの視点から、中心となる活動を思い描く

3つの視点から中心となる活動を思い描く

教師の意図	どんな資質・能力を育てたいのか？
次に、どのような力を育てたいか、全体計画や年間指導計画をもとに考え、中心となる学習活動を具体的に思い描いた。	どんな資質・能力を育てたいのか？ 全体計画や年間指導計画を踏まえて、探究課題の解決を通して、どのような資質・能力を育てたいのか、具体的に考える。

こんな生徒の興味・関心がふくらんでいるのに、そのままじゃもったいないですね。それじゃあ、これをもっと探究できるように単元を考えよう。

そうですね。このままだと、体験した職場のことだけで終わってしまうから、もっと広い視野で職業を見られるようになってほしいですね。

いや、興味や疑問がたくさん湧いているのだから、対象は職業だけに決めない方がいいと思います。職場体験で気付いたことをもう一歩深めて、「そうだったのか！」って納得してる姿が、理想ですね。

全体計画では「地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い」を探究課題にしているから、この単元では身近で働く人との関わりを深めるようにすればいいんじゃないでしょうか。

授業のイメージを学年で共有する
大まかな指導のイメージを学年会等で話し合い、共有しておくことで、協働的な単元計画の作成につなげる。

指導性 具体性
双方向性

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (中学校編) p.103

28

3つの視点から中心となる活動を思い描く

教材の特性

次に、「地域で働く人々」という教材の価値について分析した。職場体験をはじめとし、自分の未来を描く単元を構想することによって、学び得る内容や価値ある体験が可能であるかなど、教材の特性を明らかにした。

教材と出会う姿を思い描く

生徒が専門家の方々や地域の人々との関わりを深め合う姿を思い描くことで、単元の中心的な活動を明確にする。

ふさわしい単元名を考える

何をさせたいのか、何を学んでほしいのかといった、教師の願いが生徒に伝わるような単元名を考える。

多様性

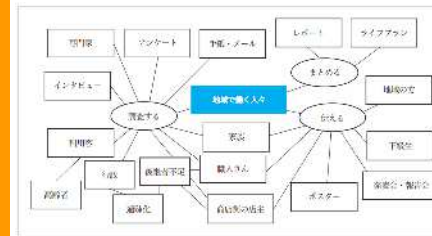
今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編） p.104

29

3つの視点から中心となる活動を思い描く

教材の特性

次に、「地域で働く人々」という教材の価値について分析した。職場体験をはじめとし、自分の未来を描く単元を構想することによって、学び得る内容や価値ある体験が可能であるかなど、教材の特性を明らかにした。



教材がふさわしいかをウェビ
ングで確かめる

中心の教材を「地域で働く方々」としたとき、教材としての広がりがあるか、どのような対象や活動が考えられるかを予測する。

多様性

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編） p.104

30

C 探求的な学習として
単元が展開するイメージを描く

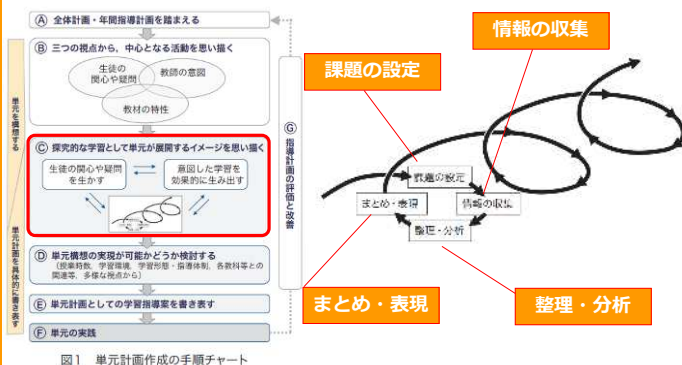


図1 単元計画作成の手順チャート

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編） p.97

31

単元名「未来の自分に近づこう」

第1小单元「働くって何だろう？」

課題の設定	・職場体験の発表会で浮かび上がった疑問や、生徒が自分なりに調べた疑問から取り出す。 ・課題の広がりが予想されるから、その中で自分の興味のあるテーマを絞り込む。 ・自分の課題の内容に近い「講座」を開講する講座を決めよう。 生徒の関心や疑問に対応した講座を開設し、自分の課題がどの講座に属するか考えさせる。→課題の質の高まり
情報の収集	・課題の解決に見通しをもつことができない場合、整理できるようにしよう。 ・専門家の方から話を聞いたり、地域の方にインタビューしたりして情報を集めるように校外学習の時間を計画しよう。 ・校外学習で収集したい情報は何か、見通しをもって計画できるようにしよう。 強い関心のある職場や職業に関わる方と事前に連絡を取り、協力を依頼する。
整理・分析	・収集した情報を、情報の質や明かさによって分類できるようにしよう。 ・わかったことを課題に照らして、上から下まで順番に検討できるようにしよう。 ・更に必要な情報があったら、メールや電話で質問して、情報を追加できるようにしよう。 KJ法的な手法やウェビング等を用いて、比較したり分類したり関連付けたりして情報を分析する。
まとめ・表現	・生徒一人一人の成果や課題について振り返りをできるようにしよう。その中で、新たな課題や気づきを生徒自身が発見できるようにしよう。 ・講座ごとの探究で学んだことを、自己表現としてまとめて発表できるようにしよう。 相手意識や目的意識を明確にし、まとめたり、表現したりする。 →情報を再構築して、次なる課題へ

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.105

32

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

D 単元構想が実現が可能かどうか検討する

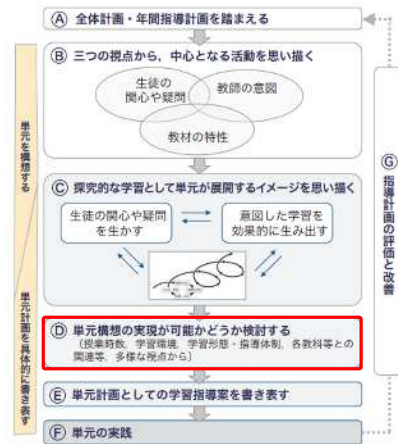


図1 単元計画作成の手順チャート

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.97

33

2 グループ別協議①

グループ別協議（30分）

<協議題>

各学校における総合的な学習の時間の実践について

<内容>

- ①お持ちいただいた資料を配付
- ②自己紹介
- ③交流
 - ・探究課題や活動の概要等
 - ・育成を目指す資質・能力が明確になっているか。
 - ・探究的な学び（課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ・表現）になっているか

本日の研修から、明日以降各学校で実践につなげられることを明確にさせましょう。

34

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

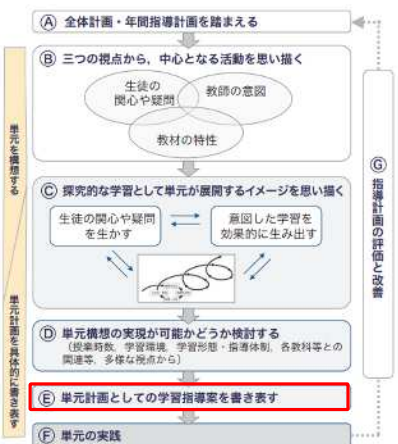


図1 単元計画作成の手順チャート

35

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

単元の計画を具体的に表現するには、以下のような構成要素が考えられる。

- | | |
|--------------------|-------------|
| ○単元名 | ○教師の願い |
| ○単元目標 | ○地域や学校の特徴 |
| ○児童の実態 | ○社会の要請 |
| ○目標を実現するにふさわしい探究課題 | ○学校研究課題との関連 |
| ○単元において育成を目指す資質・能力 | ○各教科等との関連 |
| ○教材について | ○単元の評価規準 |
| ○指導計画・評価計画 | など |

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.99～

36

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

先立的な学習の時間 単元計画

1. 単元名 未来の自分に近づこう (36時間扱い)

2. 単元目標

地域の職場や仕事、専門家の方々と関わりを通して、働くことの意味や価値について自分の将来と結び付けて考え、自分の生き方について考えを深めようとする。

3. 単元設定の理由

(1) 生徒の実態から
地域の職場や仕事、専門家の方々と関わりを通して、働くことの意味や価値について自分の将来と結び付けて考え、自分の生き方について考えを深めようとする。

(2) 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能
思考力、判断力、表現力等
学びに向かう力、人間性等

・働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付く。

・目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集できる。

・地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。

・地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもつことができる。

・課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積することができる。

・課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理・分類し、考察することができる。

・地域の職場や専門家の方々など、相手意識や目的意識に応じて、わかりやすく表現することができる。

・地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組む。

・自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。

・地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりの中で、自分ができることを見付けようとする。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (中学校編) p.106~

学習の時間	学習の目標	学習の活動
1. 単元名	未来の自分に近づこう (36時間扱い)	
2. 単元目標		
3. 単元設定の理由		
(1) 生徒の実態から		
(2) 単元で育成を目指す資質・能力		

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開 (中学校編) p.106~

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

総合的な学習の時間 単元計画

1. 単元名「未来の自分に近づこう」(36時間扱い)

2. 単元目標

地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、地域の方々の仕事に対する姿勢や願いを理解し、働くことの意味や価値について自分の将来と結び付けて考えるとともに、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組むことができるようにする。

3. 単元設定の理由

(1) 生徒の実態から

生徒たちは、職場体験学習を通して、様々な仕事に対して興味や関心、疑問が湧いている。また、働く体験を通して、社会性や職業観・勤労観について意識が芽生えはじめ、社会に出て生活することを考え始めている。

そこで、こうした興味・関心や疑問から課題を設定し、地域の方々から学ぶことを通して、自己の生き方につなげたいと考え、本単元を設定した。

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

(2) 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能
思考力、判断力、表現力等
学びに向かう力、人間性等

・働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付く。

・目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集できる。

・地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。

・地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもつことができる。

・課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積することができる。

・課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理・分類し、考察することができる。

・地域の職場や専門家の方々など、相手意識や目的意識に応じて、わかりやすく表現することができる。

・地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組む。

・自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。

・地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりの中で、自分ができることを見付けようとする。

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

(3) 教材

探究課題は「地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い」であり、これを一人一人の疑問や関心とつなげて、個人課題を設定させる。地域の方々との関わり合いを通して、働くことの意義や価値についての理解が一層深まることが期待できる。そして、自分の将来についての「ライフプラン」を構想することが、自己実現のために今すべきことを考えたり、地域や社会の一員として自分にできることを考えたりすることにつながる。

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

せる。地域の方々との関わり合いを通して、働くことの意義や価値についての理解が一層深まることが期待できる。そして、自分の将来についての「ライフプラン」を構想することが、自己実現のために今すべきことを考えたり、地域や社会の一員として自分にできることを考えたりすることにつながる。

4. 単元の評価規準

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付いている。	①地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決への見直しをもっている。	①地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組もうとしている。
②目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集している。	②課題の解決に必要な情報を、適切な手段を選択して収集し、種類や項目に応じて整理している。	②自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。
③地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことによる成果であることに気付いている。	③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を分類・整理し、考察している。	③地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。

41

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

5. 指導と評価の計画（36時間）

小単元名 (活動)	ねらい・学習活動	知	思	態	指導のポイント等
働くことの意味や価値について考える（16）	・働くことの意味について考えるための個人課題を設定する。	①			・職業体験で抱いた疑問や芽生えた興味・関心を全体で共有して、個人課題を考えるきっかけとする。
	・課題を解決するために、複数の専門家の講話を聞く。		②		・専門家の方々の様々な生き方を聞くことによって、その方の職業観や勤労観に着目させ、仕事を進めたやりがいやいきがいについて理解できるように指導する。
	・自分の課題を解決するために必要な情報は何かをまとめる。			③	・校外学習で計画的に情報を収集できるように、事前に課題の解決に必要な情報を考えさせたり、適切な情報を収集する手段を選択させたりする。
	・校外学習で情報を収集する。	②			
私のライフプラン（20）	・課題を解決するために、収集した情報を整理・分析する。		④		・考えや体験したときの気持ちなどを適切な言葉で表現するように指導する。
	・発表会で、課題の解決を通して考えたことや感じたことを発表する。			④	・考えを整理したり、やり取りしたりすることによって、自分の職業観が芽生えてくるように指導する。
	・発表に対する前後や疑問点を整理し、今後の活動の見直しをもつ。				
	・自己の生き方を考えるために、知りたいことや疑問を整理し、個人課題を考える。	③			・講話を聞いた専門家の方々のプロ意識、職業生活、こだわりなどに着目させ、人生設計に係る課題へと導く。
地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、地域の方々の仕事に対する姿勢や願いを理解し、働くことの意味や価値について自分の将来と結び付けて考えるとともに、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組むことができるようにする。	・課題の解決に向けて、職場体験で出会った方や専門家、家族や地域の方などとやり取りする。	③			・課題の解決のための適切な情報の収集ができるように指導する。
	・企業への質問を基に、気付いたことや考えたことをまとめる。		③		
	・「私のライフプラン」を設計する。			③	・働くことの意味や価値の理解と、自分の将来とのつながりが蓄積できるように指導する。
	・これまでに関わった地域の方々へ自分の学んだことをまとめて報告する。	③			・地域の方々との関わりを深められるように配慮する。

42

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

E 単元計画として学習指導案を書き表す

単元の計画を具体的に表現するには、以下のような構成要素が考えられる。

- | | |
|--------------------|-------------|
| ○単元名 | ○教師の願い |
| ○単元目標 | ○地域や学校の特色 |
| ○児童の実態 | ○社会の要請 |
| ○目標を実現するにふさわしい探究課題 | ○学校研究課題との関連 |
| ○単元において育成を目指す資質・能力 | ○各教科等との関連 |
| ○教材について | ○単元の評価規準 |
| ○指導計画・評価計画 | など |

43

2 グループ別協議

単元の目標

地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、地域の方々の仕事に対する姿勢や願いを理解し、働くことの意味や価値について自分の将来と結び付けて考えるとともに、自分のよさに気づき、探究活動に進んで取り組むことができるようにする。

- ・「～を通して」（探究課題を踏まえた単元において中心となる学習対象や学習活動）、
- ・「～について理解し」・～に気づき（具体的な資質・能力のうち、単元において重視する「知識及び技能」）、
- ・「～を考え」（具体的な資質・能力のうち、単元において重視する「思考力、判断力、表現力等」）、
- ・「～に進んで取り組む」・～しようとする・～に生かす（具体的な資質・能力のうち、単元において重視する「学びに向かう力、人間性等」）。



今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.106

44

1 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方

単元で扱う探究課題と具体的な資質・能力

探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い	- 働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに気付く。 - 目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集できる。 - 地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。	- 地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しをもつことができる。 - 課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積することができる。 - 課題解決に向けて、観念に合わせて情報を整理・分類し、考察することができる。 - 地域の職場や専門家の方々と、相手意識や目的意識に応じて、わかりやすく表現することができる。	- 地域の職場や仕事、専門家の方との関わりを通して、自分のよさに気付き、探究活動に進んで取り組む。 - 自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。 - 地域の職場や仕事、専門家の方との関わりの中で、自分にできることを見付けようとする。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.106

45

2 グループ別協議

単元の評価規準

単元名	単元の評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
未来の自分に近づくこと	①働くことの意味や価値について、地域の方の思いや願いから、自己の成長との関わりで見いだすことができることに 気付いている 。 ②目的や対象に応じた調査活動を実施するために、事前準備をし、情報を適切な手続きによって、収集 している 。 ③地域の方の仕事に対する姿勢や願いを理解することは、未来の自分の職業生活を構 想するために、解決すべき課題を探究的に学習してきたことの成果であることに 気付いている 。	①地域の方の仕事に対する姿勢や願いを、自分の考えと比較したり、思いを共有したりしながら、自分の課題解決へと見通しを もっている 。 ②課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類や項目に応じて蓄積 している 。 ③課題解決に向けて、観念に合わせて情報を整理・分類し、考察 している 。 ④地域の職場や専門家の方々など、相手意識や目的意識に応じて、わかりやすく表現 している 。	①地域の職場や仕事、専門家の方々との関わりを通して、自分のよさに気付き、探究活動に進んで 取り組もうとしている 。 ②自分と違う他の意見や考えを受け取って、他の違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して 学び合おうとしている 。 ③地域の職場や仕事、専門家の方との関わりの中で、自分にできることを 見付けようとしている 。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.107

46

2 グループ別協議

指導と評価の計画

ねらい・学習活動（時数）	知 識	思 考 力	指 導 の ポ イ ン ト 等
働くことの意味について考えるための個人課題を設定する。		①	・職場体験で抱いた疑問や芽生えた興味・関心を全体で共有して、個人課題を考えるきっかけとする。
・課題を解決するために、複数の専門家の講話を聞く。 ・自分の課題を解決するために必要な情報は何かをまとめる。 ・校外学習で情報を収集する。		②	・専門家の方の様々な生き方を聞くことによって、その方の職業観や勤労観に着目させ、仕事を通してやりがいや生きがいについて理解できるように指導する。
・課題を解決するために、収集した情報を整理・分析する。 ・発表会で、課題の解決を通して考えたことや感じたことを発表する。 ・発表について意見交換をする。 ・発表に対する指摘や疑問点を整理し、今後の活動の見通しをもつ。	②	②	・校外学習で計画的に情報を収集できるように、事前に課題の解決に必要な情報を考えさせたり、適切な情報を収集する手段を選択させたりする。
・自己の生き方を考えるために、知りたいことや疑問を整理し、個人課題を考える。		④	・考えや体験した時の気持ちなどを適切な言葉で表現するように指導する。 ・考えを発表したり、やり取りしたりすることによって、自分の職業観が芽生えてくるように指導する。
・課題の解決に向けて、職場体験で出会った方や専門家、家族や地域の方々などとやり取りする。 ・回答への質問を基に、気付いたことや考えたことをまとめる。		①	・講話を聞いた専門家の方のプロ意識、職業生活、こだわりなどに着目させ、人生設計に係る課題へと導く。
・「私のライフプラン」を設計する。 ・これまでに関わった地域の方々へ自分の学んだことをまとめて届ける。	①	③	・課題の解決のための適切な情報の収集ができるように指導する。
	③	③	・働くことの意味や価値の理解と、自分の将来とのつながりが意識できるように指導する。 ・地域の方々との関わりを深められるよう配慮する。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.107

47

2 グループ別協議

多様な評価の方法

評価の方法	説 明
観察による評価	発表や話し合い・討論の様子、学習や活動の状況などを学習活動の過程を通じて観察に基づき評価する方法である。生徒の行動や発言、表情や動作、エピソードなどを評価資料とするには、観察記録簿（観察票やチェックリスト等）を用い、情報を蓄積しておくことが大切である。
制作物による評価	レポート・論文、ワークシート、ノート、作文及びプレゼンテーション資料、作品及びポスター制作物（結果）並びにその制作過程を通して評価する方法である。
ポートフォリオによる評価	学習活動の過程や成果などの記録や作品を生徒が主体的・計画的に集積したポートフォリオを基にした評価方法のことである。活動計画表や自己評価の記録、取材メモや感想、教師や友達、保護者や地域の人のコメント、写真や報告書などを資料として集積する。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.118～

48

2 グループ別協議

多様な評価の方法

評価の方法	説明
パフォーマンス評価	一定の課題の中で身に付けた力を用いて活動することを通して、その力がどのように発揮されるかを評価する方法のことである。課題解決の場面において、身に付けた力を複合的に活用する姿を見取る評価ともいえる。
自己評価や相互評価	自己評価とは、評価カードや学習記録などから、生徒が自らの学習の状況を振り返ることによる評価である。相互評価とは、生徒が互いの学習状況を評価し合うものである。
第三者評価（他者評価）	保護者や地域の人々、有識者、活動の相手等による評価のことである。
個人内評価	観点別学習状況の評価や評定には示しきれない生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するものである。

今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）p.118～

49

3 指導と評価の一体化を核とした授業改善・学習改善の在り方 ②

G 指導計画の評価と改善
F 単元の実践

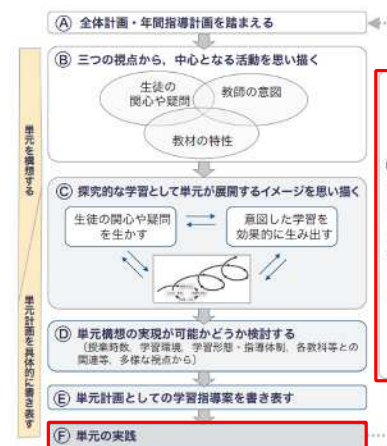


図1 単元計画作成の手順チャート

50

4 グループ別協議②

グループ別協議（30分）

<協議題>

指導と評価の一体化を生かした各学校の取組

<内容>

- (1) 各学校における評価の工夫
- (2) 評価から次の指導に生かす工夫

本日の研修から、明日以降各学校で実践につなげられることを明確にさせましょう。

51

終わりに

～総合的な学習の時間に活用できる資料～



中学校学習指導要領解説
総合的な学習の時間編



「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料
中学校 総合的な学習の時間



今、求められる力を高める
総合的な学習の時間の展開
（中学校編）



52



諸連絡（中学校）

下記URLもしくは二次元コードから
事後アンケートにお答えください。



<https://logoform.jp/form/T8mB/1128084>

ご回答いただいた方から終了となります。
ありがとうございました。

